

2005年度より活動を開始した(社)福岡県サッカー協会も北海道の取り組みと同じように、実際の指導に当たっては大学と連携して活動を行っている。

今回の訪問の際、スクールは、大学でなく九州国際大学付属高等学校のグラウンドでフィールドプレーヤー(FP)とGKに分かれて指導が行われていた。

「大学チーム専門指導者によるGKスクール」

GKスクールに関しては、既に滋



福岡県のGKスクールの様子

賀県が県トレセンのGKコーチを中心に「GK強化プロジェクト」と題して先進的な取り組みを行っているが、今回福岡で開催されていたこのGKのスクールは、九州国際大学と地元クラブ(小倉南FC)のGKコーチが、近隣の小学校6年生から中学2年生までのGKに対して指導を行うというものだった。

福岡県サッカー協会の理事である吉田忠司氏は「中学生年代における指導者不足の問題もさることながら、特にこの地区の中学校教員にはGK経験者が皆無であることが確認でき、FPと比べてGKの質が他地区・他県から大きく引き離されている感があったため、この事業の展開を考えた。スクール実施を呼びかけたところ、父兄のご協力を得ながら車で往復約1時間かけて参加している選手も中にはおり、二足の高さがうかがえる」と話していた。

当日のスクールでは、アップに始まりキャッチングから最後はミニゲームまでと、短時間ながら密度の濃いプログラムが展開されていた。トレセンではないこのようなグラスルーツの場での他校の選手との交流も必要ではないかと感じた。

また、FPのスクール



九州国際大学のコーチ・福永氏(左)による実技指導の様子

では、九州国際大学サッカー部監督の山本順之氏と同サッカー部キャプテンの原大輔氏が、女子選手2名と近隣小学生3名を含む14名に対して指導を行っていた。

練習前にはスタッフの一人である九州国際大学サッカー部の副顧問神力潔司氏は「この地区でもクラブチームの活動が非常に盛んになってきている。ただ、活動したくても部員数の不足から休部になってしまいう学校もあり、また、この年代で初めてサッカーをプレーするため、ボールもまだしっかり蹴られない選手も多くいる。われわれ、教育の場にいるものとしては、基本的なことしか指導できないが、サッカーに関心をもってくれる子どもたちを集め、このようなスクールを開催することはとても重要なことであると思っている。そ

して、自らプレーする大学生がこのような子どもたちを指導することは、将来、社会人となっても生きてくるはずだと思う」と述べていた。地元で開催される大学リーグのゲームの際には、中学生が応援に行くなど年齢も近いこともあり、大学生と中学生が共に親近感を持ってお互いに接することができているようである。

「高校や大学と連携することで指導者不足や、夜間照明つき施設の確保、等の問題に対応でき、この取り組みを進めることができているが、結局のところ、スクールを開催したとしても試合がなければ魅力がないと思われがちで、あまり多くの参加者が見込めなくなっている。また、現在、このトライアルFAの活動は県北部北九州地区のみの展開となっている。

福岡県では、中学サッカーの活動は盛んではあるが、各地域で課題を抱えつつ、それなりに取り組んでいるというのが現状である。今後、県全体でどのようにこの年代の活性化を進めていくべきかが課題」と、吉田氏は福岡県のこの年代の現状を話してくれた。

(社)大阪府サッカー協会 2007 OSAKA FOOTBALL SEMINAR

北海道、福岡県と同様に3年目の活動を行っている(社)大阪府サッカー協会の「FOOTBALL SEMINAR」の中で、今年度から実施している「巡

回訪問指導」と「4種選手を対象にした交流セミナー」に関してレポートする。

「3種と4種の連携」

今回、実際の活動を見学した「4種選手を対象にした交流セミナー」の成り立ちを尋ねたところ、「当初、3種指導者を対象にセミナー(指導者講習会)を開催していたが、最近では2種・4種の指導者も参加するようになった。先日、参加者の一人である小学生の指導者から、ぜひ、小学生を対象にした実技指導をセミナーに盛り込んでくれないか」との声があり、交流セミナーの立ち上げに至った。正直、うれしかったですね」との説明を(社)大阪府サッカー協会3種委員長寺本一郎氏より受けた。

当日は、はじめに、伏山台FCとT.S.K.金剛SC、地元4種チーム同士が中学校施設を使って親善試合を実施。試合中セミナー指導者は校舎2階から試合を観戦、ゲーム分析を行い、試合終了後に行われるセミナーのプログラムを打ち合わせていった。

また、セミナー参加の3種指導者もゲーム分析のためそれぞれがメモをとりながら試合を観戦していた。寺本氏は「当初、3・4種の交流試合を行い、その実技指導と考えていたが、4種チームからの希望が多いので4種同士の交流戦に変更した。3種は、4種選手の受け皿でもある